



「安全・安心な医療、安心して働き続けられる大学病院を」

第23回医科系大学教職員懇談会(医大懇)

毎年、行われている医大懇が今年は京都で開催されます！全国の国立大学附属病院の看護師さんやコ・メディカルスタッフの組合員のみなさんが集合し、職場間の交流や看護の学習などを行います！ぜひ、みなさんご参加下さい！

日時：12月1日(土)13:00～17:30(18:00～交流会)

12月2日(日) 9:30～13:00

会場：京都大学医学部附属病院構内

(集会：第2臨床講堂、分科会：セミナー室1、2・臨床討議室、集団指導室)



メイン講演

「ルールがわかれば変わる 看護師の交代勤務(仮題)」

講演時間：12/2(日)10:45～12:15

講師：佐々木 司 氏 (財団法人労働科学研究所慢性疲労研究センター)

☆～分科会テーマ～☆

第1分科会「安全・安心の医療をめざして」

「医療安全・看護の質」という視点から、今回の討論は、厚労省の5局長連名通知も活用して、健康で働ける為の身体面や精神面での関わり方の工夫や、離職防止対策、インシデントを減少させる工夫等、現場に活かせる意見交換を目指します。

第3分科会「魅力ある組合と組織づくり」

教職員の労働条件・労働環境の改善のために、労働組合の組織強化をどう図っていくのか。各大学における看護師オリエンテーションを中心とする組合加入の取り組み。チェックオフ協定の締結や教職員の多面的な要求活動、連帯を実感できる楽しい活動等の経験を交流します。

第2分科会「教職員の労働条件改善」

国立大学病院は、法人制度の下で運営費交付金が減額されています。それに伴い、日々、病院収入の増加を強いられ、教職員は運営効率向上を目指し業務に追われています。しかし、大学病院では臨床業務のみならず教育や研究成果も求められ、一般病院より多くの業務量かつ質の担保が必要という厳しい環境です。労働条件改善に向けた労使交渉・協議等の状況について交流・議論を行い、労働条件を改善させる方向を見いだしていきます。

第4分科会「保育所問題」

教職員の労働を支える保育所も、法人化以降その運営が多様化しています。大学(病院)が保育施設を建設し、大学(病院)が直接運営したり、社会福祉法人や民間企業に運営を委託するなどの形態が見られます。また、大学が土地を貸与し、社会福祉法人が設置運営する保育所も現れました。設置形態や運営の在り方を考え、それらの問題に対する取り組みの経験交流を行います。

☆参加希望の方は下記までご連絡よろしくお願い致します☆

連絡先：全国大学高専教職員組合(全大教) メールアドレス：somu@zendaikyo.or.jp

電話番号：(03) 3844-1671, ファックス：(03) 3844-1672

